

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1. 知識・技能 毎週、小学校時の復習・振り返りの漢字テストを行っているが、概ねよくできている。8月までに学習した文法事項についても、小学校時にも知識として学習している基礎的な文法事項のため、9割近くが振り返り、テストにおいて目標点をとれていた。ただ、個人差があり、残り1割の中には得点の低い生徒もいる。毎週行っている新出漢字の定着では、安定して理解できている生徒も多いが、一部には学習習慣が身に付いておらず得点できない生徒もいる。入学して間もない1学年のうちに学習習慣を定着させ、既習事項を確認し、基礎的な知識・技能の定着に重点を置く。 (書写・古典に関しては8月段階ではまだ学習を行っていない)</p> <p>2. 思考・判断・表現 ・スピーチ活動は自分の考えを伝えるために進んで構成や表現の仕方を考え準備していたが、実際に発表した際には、イメージ通りにできなかったと振り返っていた生徒も多かった。 ・説明的文章を読む基本となる「序論—本論—結論」の構成・文章の要旨を捉えることについては概ねできている。問いと答えの関係、段落同士の関係など、文章を読み解くための基本的なスキルの習得はできているが、文章の難易度によっては、それを活用して読むことが難しいとする生徒も多く、それぞれがもつ力の差が大きい。 ・個人差はあるものの、読書に親しんでいる生徒が多く、教材や本を読むことを楽しんでいる。ただ、教材として文学的文章を読む際、根拠なく想像のみで考えている場合も多い。スキルとして、描写・表現や人物設定から心情を捉える力はまだ足りない部分がある。 ・主張・理由付け・根拠となる事実の関係性を理解し、そのつながりに着目することができていた。ただ、その後の課題において活用ができていない生徒もいたため、今後も話し手や筆者の意見が何に基づいているのか、を確かめることを繰り返し、意見と事実の結びつきに着目して思考する・表現する習慣を付けていく。</p> <p>3. 主体的に学習に取り組む態度 小学校時から、新学習指導要領に基づいて学習してきたこともあり、学習課題に対し、主体的に取り組む姿勢は身に付いている。ただ、個人差は大きく、自ら学習課題を見付け、深めていこうとする生徒もいれば、よく考えずに発言し、ある程度の解で「わかった」としてしまいう生徒もいる。その落差を埋め、それぞれが熟考して考えを深めていくためには、それに適した学習課題の設定と、毎時の振り返りが重要である。今後は、授業に入る前には個々の目標を確認し、振り返りの際に、初回授業時の状態と比較することで、自分がどこまで課題に対して考え、追求できたか、身に付いたスキルは何かを振り返ることに重点を置き授業改善を図る。</p>	<p>※本来は「個」で考え、「少人数」「全体」での共有、再度「個」に戻るといった流れを基本の授業展開として設定してきたが、前年度に引き続き、文京区版学校感染症学校対策ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）に基づき、グループや少人数での学びあい活動を最小限にとどめる他、小集団での活動の際にはマスク着用、換気を徹底する。</p> <p>1. 知識・技能 ・振り返り、学習事項の定着の確認を単元ごとに行う。自身の知識・技能のレベルに合わせて生徒が主体的に学習に取り組めるよう、目標・課題設定を工夫する。毎週の漢字テスト、知識・技能に関する課題に対して、主体的に取り組む習慣を付けていく。 ・繰り返し学習を行う中で、自分の学習定着度を確認し、次の目標を設定するサイクルを習慣付けていく。 ・ミライシードなどの学習システムを知識・技能定着のために活用し、個々のレベルに合わせて主体的に学習を進められるようにする。</p> <p>2. 思考・判断・表現 ・話すことや表現する活動に関しては、自分の考えを効果的に伝える方法、聞き手を魅きつけるスピーチの共通点などを考え、生活や次回の課題にどう活用していくかをそれぞれが考えていた。習得・活用・探究のサイクルで、3年間を見通したスキル習得のための指導を行っていく必要がある。 ・なるべく多くの文章に触れ、文章を読み慣れ、読み解く力が向上するように努める。説明的文章・文学的文章ともに、読むときの基本スキルを段階的に習得していくよう計画し、授業課題を設定する。 ・自分で書くことが苦手な生徒に対しては、各項目や書き出しなどの支援ができる教材を用意し、取り組みやすいように工夫する。 ・ICTの活用や学習形態の工夫をし、感染対策に留意しながら生徒の間で学びあう機会を設け、他人の考えを取り入れ、自分の考えを広げられるようにする。</p> <p>3. 主体的に学習に取り組む態度 ・単元ごと、授業ごとの課題設定の工夫、目標の明確化を一層進める。 ・習得・活用・探究を基本のサイクルとして、身に付けたスキルを活かしながら、課題を追究していく授業を展開する。 ・毎時間の振り返りと単元の振り返りを行い、何を学習したか、何ができるようになったかを自分の言葉で表現させる指導を行う。毎時、自分の考えを文章に表すことで、自分自身の考えがどう変化していったか、最初に比べて深化できたことは何かを確認できるようにする。</p>